

令和6年度

宇和島看護専門学校 学校関係者評価報告書

この学校関係者評価報告書は、宇和島看護専門学校の令和5年度学校関係者評価の結果を記したものである。

1.学校関係者評価の目的

自己評価結果の客観性・透明性を高め、学校運営の改善を図る。

2.実施方法

自己点検・評価結果について、学校関係者評価委員会により評価を実施しています。

評価のポイントは、以下の(1)～(5)です。

- (1) 自己評価結果の内容の適切性
- (2) 自己評価結果を踏まえた今後の改善方策の適切性
- (3) 学校の重点課題や評価項目等の適切性
- (4) 学校運営の改善に向けて実際の取組みの適切性
- (5) その他

3.学校関係者評価結果[[pdfファイルです。ご覧になるにはAdobeReaderが必要です](#)]

4.学校関係者評価委員

種別	所属
地域有識者	地域公民館 館長
高等学校関係者	県立高等学校 校長
保護者	卒業生保護者
卒業生	本校同窓会 会長
業界関係者	社会福祉協議会 会長

(1) 自己評価結果の内容の適切性

学校関係者評価			
結果	3. 適切である	2. ほぼ適切である	1. 適切でない
人数	5		
<p><ご意見・ご指摘・ご提案></p> <ul style="list-style-type: none"> 2つの重点課題が設定されていて、その実施における具体的な計画を各課題に取り組み、評価も適切に行われている。 令和5年度は、2つの重点課題を設定し、その実現に向けて具体的な方策を計画、実践、評価を行っている。 課題が残った項目への対応も適切に行われている。 3年間の評価について、前回は大きく上回っており、方針が適切なことを示している。 課題をとらえた評価がしっかりされている。 学生の意見を取り入れ評価されている。 新規科目について評価し課題を明確にしている。 重点課題について具体的な取り組み、評価が適切に実行されていると認められる。 残された課題についても次年度計画に明確化されている。 			

(2) 自己評価結果を踏まえた今後の改善方策の適切性

学校関係者評価			
結果	3. 適切である	2. ほぼ適切である	1. 適切でない
人数	5		
<p><ご意見・ご指摘・ご提案></p> <ul style="list-style-type: none"> 自己評価に基づき、各重点課題における問題点の抽出がなされ、今後の改善策や方向性について計画されており、適切である。 一つ一つの課題に対して具体的な方策が考えられており適切である。 次年度に向けての取り組みが進められるよう、評価がされている。 OSCEマニュアルの変更、ルーブリック評価表の見直し等、結果をふまえて改善に取り組まれている。 残された課題について真摯に取り組み、学生の演習アンケートの意見を取り上げ、効果的な学習環境を整えていく姿勢は評価できる。また専門職連携においても相手施設と覚書を取り交わし、共通認識を持ち、学生の教育が的確に行われている。 			

(3) 学校の重点課題や評価項目等の適切性

学校関係者評価			
結果	3. 適切である	2. ほぼ適切である	1. 適切でない
人数	4	1	
<p><ご意見・ご指摘・ご提案></p> <ul style="list-style-type: none"> 重点課題においては、昨年度の自己評価結果を踏まえ、重点課題が設定されており適切な計画がなされている。 評価項目においては、貴校の教育理念・教育目的及び教育目標に基づき、3つのポリシーのもと、自己点検・評価が実施されており適切である。 過去の課題を基に、適切な方針が計画されている。 また、評価項目も適切である。 「各論実習前演習」でモデル人形を活用しての演習は、リアルに演習でき技術の向上につながると考える。 しかし実際の現場においては、急患ありきの対応であり、疼痛や羞恥心など患者の気持ちに寄り添った看護にも注意し取り組んでほしい。 年度毎の評価を行い課題が抽出されており、継続的に実施されている。 課題を明確化し問題点を洗い出し、その改善方法を具体的に計画していることは評価できる。 ループリック評価を導入し活用していく事や、新しい技術試験を取り入れていることは適切である。 			

(4) 学校運営の改善に向けて実際の取組みの適切性

学校関係者評価			
結果	3. 適切である	2. ほぼ適切である	1. 適切でない
人数	5		
<p><ご意見・ご指摘・ご提案></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新カリキュラムによる教育が現在進行中であり、必要な資料・データを収集し、それに基づき、翌年度の課題などが決定され、改善に向けた点検・評価がなされており、適切である。 ・ 新しい時代に対応すべく、適切な教育が実践されており成果も着実に出ている。 ・ シラバスもしっかりしており、令和4年度の新カリキュラムで学校の教育理念、教育目的は自己評価においても高く評価されているため、取組みに自信をもって取り組まれていると評価する。 ・ 新規授業科目を重点課題とした取組み、学力向上にむけた取組みが計画的に実施されている。 教育環境においても取り組まれている。 ・ 地域の諸資源との交流活動は的確に行われているが地域社会のニーズを把握する手段は、今後の連携を深めていくためにも考慮していく必要がある。 学生の卒業後調査を考えているようだが、ぜひ実現させてほしい。 全国的な問題である少子高齢化、特に18歳以下の人口減少で学生獲得の厳しい状況下で応募者数の増加を図るためにSNSの活用など、積極的なPR活動を考えている点、評価できる。 			

(5) その他

学校関係者評価

<ご意見・ご指摘・ご提案>

- ・ 令和3年度～令和5年度の取り組みについて点検・評価されているが本年度末の卒業生は新カリキュラムで教育を受けた初めての学生の卒業となる。来年度は令和4年度～6年度の点検・評価を実施し、新カリキュラムでの改善点や推進点を検証し学生のために生かして欲しい。
- ・ 愛媛県南予地域は急速な少子高齢化が進んでおり、今後ますます地域医療を支える人材育成が重要である。貴校の取り組みの充実と発展をますます期待している。
- ・ 自己評価の中にもあるが、地域の過疎化や高齢化により地元での受験生確保が厳しくなる。今後、地元住民の為にも若い世代が残っていけるよう、頑張ってもらいたい。
- ・ 卒業生の51%が南予地域に就職されている。地域医療に貢献できる看護師の育成に今後も期待する。
- ・ 貴校が南予唯一の看護学校であることを考え、大切な地域医療の担い手の育成機関を今後も応援していきたいと思うが、折角の人材を県外、南予外に流出させないためにも、地域との交流活動に力を入れて、地域とのつながりを深めてモチベーションを高めることも重要かと考える。